

2026 年 4～6 月 活動記録

天塩町地域おこし協力隊 鷹尾 心

目次

■ 活動記録

1. 天塩川歴史資料館 見学案内
2. 総会・研修会参加
3. 2026 年度国際博物館の日記念事業
4. 化石レプリカ貸し出しについて
5. 館内設備の改善
6. その他の取り組み
7. 来月以降の活動計画

活動記録

1. 天塩川歴史資料館 見学案内

今年度も近隣地域からご来館いただいた団体のお客様の見学案内を行った。昨年度よりも分かりやすく見学を楽しめる案内をしていくため、今後も方法を考えていきたい。

実施した見学案内：

- ① 6 月 9 日 名寄市風連瑞生大学のみなさま
- ② 6 月 11 日 苫前商業高校のみなさま

2. 研修・総会参加

下記研修・説明会等に参加した。

参加した総会・研修会：

- ① 2026 年度北海道博物館協会総会 （於：オンライン）

今年度の北海道博物館協会総会にオンライン参加した。

- ② 令和 8 年度 留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク総会 （於：留萌市）

令和 8 年度留萌管内地域おこし協力隊ネットワーク総会に参加した。参加自治体の協力隊活動の報告を行い、来年度の活動抱負などを考える機会となった。

3. 2026 年度国際博物館の日記念事業

2026 年度国際博物館の日記念事業として、3 つの取り組みを行った。

①天塩川歴史資料館公式シンボルマーク募集

天塩川歴史資料館の公式シンボルマークを決める公募キャンペーンを行った。募集期間は 5 月 13 日～6 月 10 日、採用作品の発表は当館の開館記念日である 6 月 17 日に行った。採用作品の詳細などの情報については以下の公式ウェブサイトでお知らせを公開している。

天塩川歴史資料館 - 天塩川歴史資料館の公式シンボルマークが決定しました！

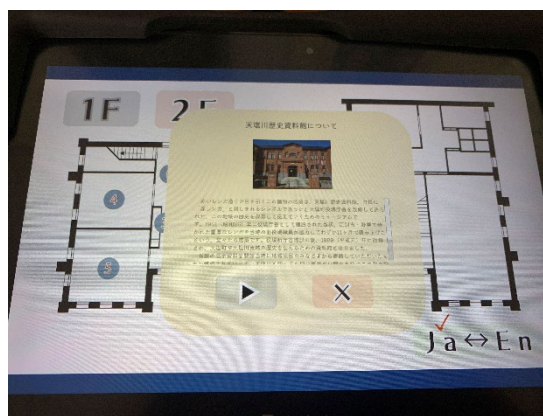
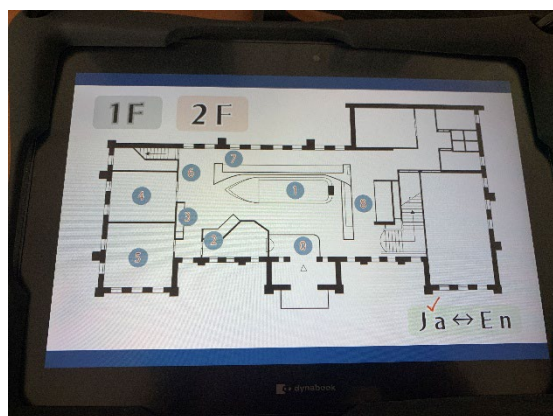
https://www.teshiotown.hokkaido.jp/teshioriver-museum/ja/news_20260617/

②無料開館

国際博物館の日当日の 18 日を含む 3 日間資料館の入館料を無料にした。

③音声ガイドアプリの開発

Unity を用いて音声ガイドアプリを開発し、館内貸し出し用のタブレットで展示の解説を聴くことができるようにした。現在は日本語と英語に対応しているが、今後ほかの言語にも対応させることを目標にしている。



▲ 館内で貸し出している音声ガイドのタブレット

4. 化石レプリカ貸し出しについて

沼田町化石体験館にて、2026 年 7 月 18 日から 9 月 30 日まで道内のクジラ化石に関する特別展が開催され、当館のテシオコククジラ化石のレプリカも展示される（8 月 1 日には田中嘉寛博士の講演会も実施）。これに伴い、レプリカの一部が不在となる当館の 2 階展示室では、実物では見られない裏側や別角度まで、3D モデルを自由に動かして観察することができるタブレット端末を設置している。



▲ 3Dモデルを360度回転させることができるアプリの画面

5. 館内設備の改善

よりよい展示環境にするため、除湿器の設置、館内BGM導入、プロジェクターの動作確認などの設備改善を行った。来館者のみなさまが館内で快適に過ごせるよう、資料が適切な環境で展示・保存されるように環境の改善を継続していく。また、プロジェクターとスクリーンの動作が回復したので、今後は映像の上映イベントなども視野に入れて企画を行いたい。

6. その他の取り組み

外部の発行物に掲載される当館の取り組みの報告論文や紹介記事の執筆を行った。

①日本博物館教育研究所（JILIM）研究所紀要『博物館教育学研究』

紀要6号「Unityを用いたデジタル・ハンズオンコンテンツの試行ーテシオコクジラ化石発掘ゲームの内製開発事例ー」

<https://sites.google.com/mel2015.com/jilim/publications>

②北海道開発協会広報誌『開発こうほう』「北海道の博物館・郷土資料館」シリーズ

9月号に掲載予定

7. 来月以降の活動計画

①特別展示室内資料整理

館内に保存している未整理資料の整理・アーカイブ作業の開始を8月ごろに予定している。今後の当館の活動に活かすため、資料の効果的な利用方法を模索し、アーカイブ体制の構築を目指す。

②資料収集方針の作成・公開

当館の設置条例に記載している資料収集方針を具体化し、公開できる形に整えていくことで天塩町の歴史を記録する資料館としての機能を明確にすることを目標にする。